令和元年度第１回岡崎市社会福祉審議会児童福祉専門分科会 議事録

日　　時：令和元年５月30日（木）午後２時00分～午後３時05分
場　　所：岡崎市福祉会館３階視聴覚室
出席委員：10名
　　髙橋蔵人（会長）、古田学（副会長）、牧野正高、渡辺重晴、本田康英、
　　今西洋子、塩澤美穂子、金野浩二、大岩みちの、牧原東吾

事務局等：15名
傍 聴 者：なし

１　開会
２　新委員等自己紹介
３　議事
　⑴　子ども・子育てに関するアンケート調査結果について
　⑵　令和元年度主要・新規事業について
　　ア　産婦健康診査・産後ケア事業
　　イ　放課後子ども教室
　　ウ　病児保育
　　エ　幼児教育・保育の無償化
４　閉会

《主な質疑、意見など》

議事１　子ども・子育てに関するアンケート調査結果について

事務局：資料により審議内容について説明

委　員：民間の育児休業や育児休暇の取得は難しいと思いますが、市役所の取得状況はどうですか。

事務局：数値は手元にありませんが、男性職員も積極的に取得するよう呼びかけているものの、女性職員と男性職員で取得率の差が大きいことは民間と変わりないかと思います。

委　員：保育園・幼稚園・認定こども園職員の調査結果によると、勤務負担は前回調査に比べて減少したようですが、仕事のやりがいや充実感が少し減っています。どのように分析されていますか。

事務局：市では、事務的な記録作成を減らす、保育士でなくても良い業務を他の職員や企業に依頼するなどの見直しをしてきたため、負担が減っているのではないかと考えます。また、やりがいや充実感を持っている人の割合が減ったことは、若い職員に現場を支えてもらっており、日々精一杯な状況があるからかと思います。

委　員：若い先生たちにやりがいを持って働いてほしいですね。

委　員：７年目から主任になる前の先生を対象に、どんな魅力を感じて保育職を続けているのかなど、自分を振り返る研修をしています。勤め続けている先生が若手に魅力を伝えていくことが大事だと思います。保育士はブラックといわれますが、良い面もあり、それがやりがいにつながっているということを確認する研修をしています。

会　長：どういうことでやりがいを感じられないのか、研修会等で聞いていますか。

委　員：人間関係に悩むとき、相談する人がいないとき、現場に目指すモデルの先生がいないとき、保護者対応に困った際に地域で解決できない等、細かいことがたくさんあるようです。

委　員：幼稚園や保育園やこども園に対する社会からの要請が多様になり、その多様なニーズに応えるため、事務的にこなす部分が増えてきたように感じます。やりがいや充実感を持っているという回答割合が減ったことは、子どもにとって良い状況ではないと思います。

委　員：時間外の労働に報酬をきちんと支払うことが重要だと思います。離職率が高いのは、残業が多く、その報酬がサービス残業になっていることが原因かと思います。

委　員：保育に関わる市職員の離職率はどうですか。

事務局：離職者数は年間10人程で、決して高いとは思っていません。保育士で辞める方は、子どもがある程度の年齢になったからという方、結婚して県外に出るからという方がいます。

委　員：経験年数のバランスはどうですか。児童相談所もベテランが多いのではな

く、経験年数０～３年の方が多く、先輩に聞きたいことがあってもなかなか聞くことができないという実態があります。公立園の経験年数はどうですか。

事務局：中間の30代前半は年間およそ60人育休に入っており、５・６年目の人を中心に現場をまわしているという状況です。

委　員：私立幼稚園は公立に比べると、先生が短い経験年数で働いているという実態があると思います。十分な賃金が払えない、社会的な保障ができないということが原因だと思います。

委　員：国もそういった状況を把握しており、新任研修、３年目研修などが増えてきています。市も計画を立て実行しています。また、このようにアンケートで働いている側である保育職員の意識調査をしているのも岡崎市の特徴であり、子育て環境をより良くしようと努力しているところだと思います。

議事２　令和元年度主要・新規事業について

事務局：資料により審議内容について説明

ア　産婦健康診査・産後ケア事業

委　員：昨年豊田市で３つ子のお母さんが第２子を殺してしまうという事件がありましたが、岡崎市の多胎子に対する育児支援はどのようなものがありますか。

事務局：多胎妊娠の場合は、妊娠届出の際の面接で出産後のリスクが大きいと判断し、支援の必要な妊婦さんであるという認識のもと、妊娠期から出産後まで声をかけさせていただいています。また、多胎妊娠の場合は産婦人科医療機関から支援が必要との連絡が入るため、保健師等が訪問しサポートさせていただき、子育て施策の案内もしています。加えて、産前産後ホームヘルプサービスでは、通常産後６か月まで上限が60時間までとしていますが、多胎出産の場合は出産後１年まで上限が80時間までとしています。

イ　放課後子ども教室

委　員：平日の事業ですか。具体的な実施時間を教えてください。

事務局：基本、平日は午後６時又は７時まで、土曜日は午前８時又は 10 時から午後６時又は７時までとしていますが、学校行事に合わせて時間を設定しております。

委　員：利用状況はどうですか。

事務局：学校の児童数の多少によりますが、平成 30 年度に最も利用の多かった井田学区では、延べ利用児童数は年間３万人を超えました。平日の１日平均利用は約 50 人で、センター利用児童の利用を含めると 130 人程になりま

した。

委　員：日によって変動があると思いますが、スタッフはおよそ何人いますか。

事務局：見守りする職員は３人体制で、常時２人としています。

委　員：高学年と低学年の割合はどうですか。

事務局：放課後児童クラブのある学区ですと、低学年は放課後児童クラブを利用することが多いため、３・４年生以上の割合が多いと思います。

委　員：スタッフはどういう資格が必要ですか。

事務局：教職員免許や保育士免許をお持ちの方や、資格がなくても育児や家事が一段落された方で、面接を経て採用となった方に、勤めていただいています。

ウ　病児保育

委　員：事業主体はどこですか。

事務局：医療機関ともファミリークリニックです。

委　員：今回はモデルケースとして実施して、今後増やしていく予定ですか。

事務局：今後の利用実績を見て検討します。

委　員：対象児童となる「２号又は３号認定こども」とは何ですか。

事務局：保育の必要性のある子どもで、３～５歳児を２号認定こども、０～２歳児を３号認定こどもと言います。

委　員：この事業はお母さんが病院に連れていくという形だと思いますが、今後病院から家庭に看護師や保育士を派遣する予定はありますか。

事務局：今のところ予定はありません。

委　員：母親の働き方も多様化していると思いますが、今後１号認定などに対象を広げる予定はありますか。

事務局：まず事業を新たに開始するところであり、今のところ予定はありません。

エ　幼児教育・保育の無償化

委　員：私立幼稚園では６月や７月に見学会や説明会を実施し、10 月からは来年度の受付を始めます。岡崎市としてなるべく早く詳しい情報をお示しいただきますようお願いします。また、無償化の対象となる利用料とは何を指していますか。

事務局：給食費等を除いた保育料を指します。

委　員：「幼稚園については満３歳から、保育所については３歳児クラスから」とありますが、保育園は年少のクラスから、幼稚園は保育園でいうと２歳児クラスのお子さんの満３歳からということですか。

事務局：おっしゃるとおりです。制度に合わせています。

委　員：子ども・子育て支援新制度の対象にならない幼稚園とはどんな園ですか。

事務局：現在、国から施設型給付を受けている幼稚園と、従来の園があります。子ども・子育て支援新制度の対象とならない幼稚園とは、施設型給付ではなく、県の私学助成の対象の園、つまり新制度に移行していない園のことを

指します。

委　員：対象の園とは、岡崎市の私立幼稚園22園のうち、１園のみですか。

事務局：おっしゃるとおりです。

委　員：名古屋市は親に無償化に関する資料を配布しているようです。できるだけ先行して情報を伝えられるといいと思います。

閉会

事務局：速やかな議事進行に御協力いただき、ありがとうございました。
これをもちまして、令和元年度児童福祉専門分科会を終了いたします。

（午後３時05分　閉会）